

感謝の気持ちを持つことが大事

<貴重なホームステイ体験>

レポート：小野夏絵

★喋れないことを武器に

今回の研修は「自分で」ということではなく、園から「行っておいで」と言われての参加でした。「海外の子育て支援のあり方を視察する。」という研修には興味があり、行っておいでという言葉に甘えてみようと思いました。しかしこの研修はホームステイと聞き、不安だらけでした。「英語はまったく話せない私にできるだろうか?」「大丈夫なの?」と自分の心と葛藤し考えれば考えるほど不安でいっぱいになりました。

そしてこの研修の説明会が一週間前にあり、その時日野社会教育センターの中能さんに会い、英語が喋れないことが不安だということを伝えると「喋れないことを武器にしてください。」と言われ、「不安がなくても仕方がない。武器にして楽しもう。」と気持ちを少し切りかえることができました。ホストファミリーの家族構成や名前が届き、ソフィアちゃん(8歳)の子どもがいることがわかったので、ソフィアちゃんと遊べるものをと、日本から折り紙や塗り絵、火等をつかわなくても作れるお菓子を持って行こうと期待と不安が入り混じる中カナダに向かうことになりました。

★一緒に遊んだ折り紙での交流

ソフィアちゃんとは2日目の夜から、折り紙と一緒に折りました。折り紙の本も持っていったので、英語は単語で返しながらソフィアちゃんが折りたいというものを一緒に折り、楽しみました。一回目は紙風船が気に入り作ってはバレーと言って2人でポンポン投げ合って遊びました。次の日



は、ピアノの折り方が気に入り、色を変えてはたくさんピアノを作り、そこに楽譜を作って”Sofia Natsue”と書いたり、言葉は単語だけでしたが「あ!そうそう。」と気持ちが通じているなど、折り紙で遊ぶことで感じることができ、楽しい時間を過ごすことができました。喋れなくても意外と私楽しんでるなあ、あの不安な気持ちはどこへ…と1日ずつ不安が消えていきました。

★びっくりショッピング

英語がわからない私、単語を聞きとり返すのが精一杯の日々、夕食時「ショッピングゴー」「ファミリーギフト」と言われ「イエス」と答えた私、みんなでショッピングに行くのだと思い、答えたのですが、いざ行く時になったら「テレフォン」と言われたり「フィニッシュ」となにかわからず、車へ…なんと言ったらいいのかわからず、車の中では違う会話となり…心はドキドキ、ショッピングモールに着くと、やはり「テレフォン」というので「ノー!ノ

ー！」と電話なんてできない。えーと、えーと…あ！そうだ！と思いついたのが、終わる時間を伝えればと思い、「エイトフィニッシュ」と言うと「イエーOK！」と、ここで一つクリアですが、一人でショッピング「2時間どうしよう」と思い中に入ると、いろんなお店があり、欲しいものが買えたり、アイスを食べたりと、一人でショッピングも楽しむことができました。8時に迎えにも来てくれました。迎えの車が来た時はホッとしました。帰って来て家族に伝えると、楽しい思い出ができたね。と言われ良い経験だったなと感じました。

★カナダの食事

ホームステイではケロウナに暮らす人たちの生活を体験しました。食事は日本人のようにいくつもの食器ではなく、ワンプレートにおかずをのせて食べました。日本は豊かだなと感じました。食事には必ずサラダがありました。また、食事はデッキで食べたり、バーベキューをしてくれて、家族みんなで食べました。家族で食べる大切さを話し合いながら、感じることができました。短い間でしたが、ケロウナに暮らす人たちの食事の体験をさせていただきました。

★大きな自信につながったステイ体験

ホームステイでは学びの多い経験になりました。そして、自分にとって、大きな自信になりました。楽しい思い出がたくさんできたのも、優しいホームステイ先の家族のおかげです。また、意外に頭が英語脳になり、少しずつ何を言っているのかがわかるようになっていったのは、私自身がびっくりでした。

なんでも実際に行ってみないと、やってみないとわからないことがたくさんあるとい

うことが、よくわかりました。ホームステイの経験は関わろうとする気持ち、感謝の気持ちを持つことが大事だということもわかりました。英語ができない私で不安だらけでしたが、私にもできたという自信になりました。

